

# 『地区防災計画』策定の取り組みを始めていきます

## 自治会ごとの『地区防災計画』の大切さ

ハザードマップは理解できたけど、何から始めたらよいかわからない。そういう声も聞こえてきます。東地区全体を見ても、災害の危険性の特性には自治体ごとに大きな違いもあります。そこで、自治会ごとに『地区防災計画』を策定していくことをお勧めします。

なまずの会では、東地区の防災力アップのために、お声がけいただいた自治会から順次、『地区防災計画』策定のお手伝いをしていきたいと思えます。

災害が起きれば、まずは自分の、そして家族や身近な人の、命を守る<自助>。次に、近所の方々とともに安否を確認し合い、助け合う<共助>。行政などからの支援<公助>は一番最後になります。自治会単位の助け合い<共助>の計画が『地区防災計画』。まずは、不安なことを共有するところから始めてみませんか。

## こんなお悩み・心配はありませんか？

- ★周りの道が狭くって、火事や地震の時に、消防車や救急車は入ってこれるの？
  - ★家の前の道は行き止まりで、火事や地震の時に逃げられるのかな？
  - ★ご近所に、空き家が多くって、地震で倒壊したり、火事が起こったりしたら、どう対応したらいいの？
  - ★ブロック塀が、地震の時に倒れてこないかな？子どもたちの通学路なのに心配。
  - ★川が近くって、水かさが上がった時に、どうしたらいいかわからない。
  - ★近くの水路は、ちょっとした大雨であふれてしまうけど、もっと激しい雨が降った時には大丈夫？
- こんなお悩み・心配を解消するために、自治会ごとに「地区防災計画」を作っていきます！



【発行・問合せ】 東地区まちづくり協議会・なまずの会

岐阜県不破郡垂井町綾戸 901-1 (東地区まちづくりセンター内)

電話：0584-23-0028 / E-mail: hirgashikou@town.tarui.lg.jp

お問い合わせフォーム⇒



【保存版】

2026年2月 垂井町 東地区まちづくり協議会発行



## 防災なまず通信 第7号

【なまずの会】とは？

「なかとまを ずっと守ろう」の頭文字を取って名付けられた、東地区の有志によるグループです。年齢や性別を問わず、誰でも参加・発言できる会議として、地域の皆さんと一緒に防災について考えていく場です。

特集：ハザードマップを確認しましょう！！

災害に備えるために、垂井町のハザードマップが大変役に立ちます。最大想定される洪水や地震について、我が家でどのような危険性があるのか？また、いざ洪水や地震が起きた時に、どのように対応したらよいのか？

ハザードマップは、頻繁に見直しも図られています。東地区最新版をチェックして、災害対応を強化していきましょう！



なまずの会では、垂井町ハザードマップを用いて、自治会ごとにどのような災

害リスクが考えられるかについての学習会に講師を派遣しています。ぜひ、ご活用く

ださい！